



**ROTARY
SERVING
HUMANITY**

国際ロータリー第2800地区 1959年6月9日創立

鶴岡ロータリークラブ

例会場 東京第一ホテル鶴岡(鶴岡市錦町2-10) 例会日 毎週火曜日(12:30~13:30)

平成29年1月31日(火) 第2789回 例会 (本年度第24回)

2月14日(火)	ゲストスピーチ 井上貴利JC理事長
2月21日(火)	ゲストスピーチ 国井英夫氏
2月28日(火)	インターネットミーティング
3月 7日(火)	新入会員スピーチ 榎本久靜子君

Eメール◎tsuruoka08@rid2800.jp ホームページ◎<http://www.tsuruokarc.org/>



会長報告

会長／加藤 亨

先週は天気の悪い中、寒鱈家族例会ありがとうございました。

天気が悪かった分寒鱈に脂が乗って美味しく頂くことが出来たと思います。西川さんには色々とご配慮を頂き、お客様から美味しいと声が聞けて本当に良かったと思います。ありがとうございました。

早いものでもう2月になります。2月下旬にはPETS・補助金管理セミナーも開催され、次年度に向か計画を進めて行く時期になってきました。

先週も話をさせていただきましたが、地区補助金を活用して社会奉仕活動の計画をすすめる上で、由良地区の方より由良地区の現状などを伺っていますので本日は由良について少し話をさせていただきます。

由良地区は世帯数380、人口1,068人(H28年12月末)で北に出羽富士「鳥海山」を背景に日本の渚100選、心地よい海水浴場100選に選ばれた由良海岸、蜂子の皇子と八乙女伝説の奇岩「八乙女浦」等自然景観に恵まれた漁村地区です。現在、地域の課題として観光客の減少、昭和58年には年間64万人の観光客がありましたが、レジャーの多様化と高速道路網整備により海水浴客もほとんど日帰りが多くなり、民宿、ホテルも80件から10件に減少し、観光客も年間30万人前後まで落ち込んでいる状況とのことです。

「東北の江ノ島」と呼ばれる白山島は、3000年前火山活動によって出来たと言われ、高さ72m、周囲436m、砂浜から177mの赤い橋が架けられており島を周遊する散策路、海釣り堀も整備されています。島中央には白山神社拝殿が建ち236段の石段を登ると本殿、日本海を一望することが出来ます。

その由良のシンボルであり住民崇敬の地、観光の要所である白山島は近年長年の堆積物などで岩につま

ずくなどの危険箇所もあり、観光客の危険防止の注意喚起と白山島をより楽しんでもらうために島の案内地図(A1サイズ594mm×841mm)を整備して欲しいとのことでした。

今後皆さんより検討してもらいたいながら次年度の補助金での奉仕活動の計画書を出したいと思いますので、参考にしていただければと思います。

又、今年度の財団寄付、米山寄付目標達成に向けてもう少しご協力をお願いする必要があります。各自ご意見は有ると思いますが、財団への寄付は3年後には地区で使用出来ることが出来る金額が決まりますし、米山、国籍とかにとらわれずに、有望な若者を支援することで将来の日本との架け橋になってくれるような人を育てる事は、次世代の日本の若者への支援になると私は思っています。クラブ目標達成という意味合いではなく、次世代のためにとの考え方でご協力をお願いし、会長報告といたします。

幹事報告

会長／富田 喜美子

○天童RC創立60周年記念式典および祝賀会のご案内

日時：3月26日(日) 登録受付：14時～

記念式典：15時～16時45分

祝賀会：17時～18時30分

会場：ほほえみの宿滝の湯 登録料：10,000円

○会長エレクト研修セミナー(PETS)のご案内

日時：2月25日(土)・26(日) 登録 9時～

会場：ホテルサンチェリー 登録料：10,000円

宿泊料：7,000円 締切2/6

○ロータリー財団 補助金管理セミナーのご案内

日時：2月26(日) 登録 9時～

会場：ホテルサンチェリー 登録料：2,000円

会員数	34名
出席	22名
出席率	75.86%
前々回確定出席率	68.97%

■RI会長 ジョン・F・ジャーム ■地区ガバナー 長谷川 憲治

■会長／加藤 亨 ■副会長／武田啓之 ■幹事／富田喜美子 ■会長エレクト／木村 節

■会報委員会／阿蘇司朗・迎田 健・菅原成規・前田 優・真島吉也

事務局：山形県鶴岡市錦町2-68 鶴岡SSビル1F TEL (0235) 28-3375 FAX (0235) 28-3376

米山奨学会について

RID2800 米山奨学委員会委員 西川 富美子



本日は、皆様も十分ご存じかと思いますが、米山奨学事業について少し復習の意味で、お話しさせていただきたいと思います。

米山奨学会とは、日本全国のロータリアンから寄せられた寄付金を日本で学ぶ外国人留学生に対して支給している団体です。この事業は日本のロータリークラブ創立に貢献された米山梅吉氏の功績を記念し、後世に残る有意義な事業を立ち上げたいという思いから発足いたしました。1952年東京ロータリークラブで構想がまとめられ、わずか5年で全国のロータリークラブ事業に発展しました。1967年文部省の許可が下りて財団法人ロータリー米山記念奨学会となりました。2012年には公益財団法人の許可を得て税制上の優遇を受けられるとともに、公益性の評価を得ています。

これまで123ヶ国、18,648人の奨学生を支援してきました。2004年に開催されたRI理事会で米山奨学事業に対して国際ロータリーの定める他地区合同活動の手続きを取ることが求められ、手続きが完了2008年から正式にロータリーマークを使用することができるようになりました。

奨学会の使命は将来世界と日本をつなぐ架け橋となって国際社会で活躍し、ロータリー運動の良き理解者となる人材を育成することです。これはロータリーの目指す平和と国際理解の推進そのものです。

何故外国人留学生の支援かという事に関して、将来の日本の生きる道は平和しかない。その平和日本を理解させるためにはアジアから一人でも多くの留学生を迎えて、平和日本を深く感じてもらうためです。

2800地区米山奨学生の選考は7月から始まります。今年度13名の奨学生が面接を受け、7名の方が合格しました。庄内では3名の受け入れが決まっています。海外からの応募が1名、継続が2名という事で、計10名で次年度の地区事業が始まります。

事業規模ですが、2016年度の奨学生は750人、12億6千万円でした。これまで支援した奨学生は、延べ19,197名、その出身国は124か国に上っています。中国が40%で一番多く、韓国、台湾、マレーシアと続いています。

寄付金については、クラブから定期的に送金される普通寄付金と、個人・法人・クラブから任意で寄付される特別寄付金があります。普通寄付金の2015年度の平均は4,760円、当クラブは7,000円となっています。特別寄付金の2015年度の平均は、13,019円でした。当クラブは18,135円で目標を達成しています。米山事業はこの寄付金のみで成り立っています。2015-2016年度の寄付額は、15億7千7百83万円となっています。奨学金、補助金、事業に伴う人件費を含む事業費は12

億5千7百48万円と3年連続で寄付金収入を大きく下回っています。次年度は奨学生を40名増の780人とすることが決まっています。

最後となります、幸い当クラブには、藤川PGがいらっしゃるため、直にRIの現状をお聞きすることができます。PGがおっしゃる通り、本来のあり方が薄れていく中でも、当鶴岡RCは、真のロータリアンとして活動を行っていることを誇りに思っております。加藤年度も当クラブが目標と掲げた金額が達成できますよう皆様のご協力をお願いしまして、スピーチを終えたいと思います。

鹿児島に行ってきました

菅原成規



(スピーチ前半は、下記スマイルを参照)

鹿児島西ロータリークラブの現状を聞いてまいりました。鹿児島市内には10クラブあり、会員数は400名だそうです。その中で鹿児島西は70名で一番会員数の多いクラブです。なお、ライオンズは600名の会員がいるということでした。

委員会報告

◆出席委員会

◎メイクされた方

藤川享胤君・小林健郎君・佐藤友行君・大川 淳君
加藤一弘君・丸山隆志君・越智茂昭君・佐藤詩郎君
菅原成規君・武田啓之君・富樫松夫君・富田喜美子君

スマイル

西川富美子君 先週は、寒鰯汁家族例会でお越し頂きましたありがとうございました。今まで一番おいしいとおほめの言葉を頂き、また頑張りたいと思います。また本日は、米山奨学会についてお聞き頂きましてありがとうございました。ご寄付宜しくお願ひいたします。

加藤 亨君 先日は大変おいしい寒鰯ありがとうございました。

藤川享胤君 西川さんの分かりやすい、しかも格調高いスピーチ有難うございました。

菅原成規君 1月21日から23日まで、2泊3日鹿児島へ行ってきました。鹿児島西RC共催の講演会があつて終了後、天本会長、山之氏幹事、鮫島パスト会長と懇親を深めて来ました。遠いですが、これからも両クラブの交流が深まりますようスマイルします。

